

親の会だより

第103号 発行日 令和4年3月7日

発行 岩手県ことばを育む親の会

会長 主演 友子

事務局 盛岡市立桜城小学校きこえとことばの教室内



日頃から、岩手県ことばを育む親の会活動にご理解とご協力をいただき有難うございます。新型コロナウイルス感染症は、昨年以來本会の活動にも大きく影響を及ぼしております。

例年1月に開催しておりました「すっぴんの会」(吃音がある子と保護者の交流会)は、感染の予防を考え今年度は保護者のみでの開催を予定しておりましたが、感染拡大により県の緊急事態宣言が発出される状況を受けて、やむなく中止といたしました。準備いただいていた講義資料は、お役立ていただけるように各支部に配付いたしました。講師をはじめ、参加申し込みの集約等の準備を進めてくださいました支部事務局の皆様には、心から感謝申し上げます。

今年度の活動は、幼児期の言語教育研修講座、ブロック研修会、すっぴんの会は中止となりましたが、総会を书面開催、釜石・大槌大会はDVDによる講演と大会誌の発刊による開催、親の会だよりの発行などは新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、ねらいを達成するための活動方法を考え、教室担当の先生方、関係機関の皆様方のご支援をいただきながら進めて参りました。

今後も新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、「だれでも・いつでも・どこでも」適切な教育を受けられる体制をめざして「子どもたちのために」活動を進めて参ります。よろしくお願ひいたします。

令和3年度岩手県との意見交換会

令和3年度の岩手県と障がい者関係団体との意見交換会が書面で開催されました。岩手県ことばを育む親の会では7項目の意見要望を提出し、令和3年12月23日付けで県保健福祉部及び教育委員会から回答がありました。概要は次のとおりです。

各支部の市町村教育委員会への要望活動等の参考にしてください。

1. 通級指導教員の基礎定数化措置と、通級指導教室への教員配置について

通級指導教室への教員配置を「教員定教法」にそって早期に整備し「通級による指導」に必要なだけの教員の配置をこの二、三年で達成するようお願いいたします。また、通級指導教室への教員配置が講師で充てられている地域や学校を早期に解消し、研修経験者や経験豊富な専門性のある教員による指導体制の確保と充実をお願いします。

〈学校教育室 教職員課(追記)〉 通級による指導については、全県の対象児童生徒数を基に教室・教員数が算定されるものとなっております。今後とも国の動向に沿った形で進めていきたいと考えております。また、指導する教員については、研修経験を含めた総合的な観点から任命・配置して参ります。

2. 幼児のための教室設置と教育の充実について

幼児教室設置市町の設置効果を未設置町村にご紹介いただき、県内すべての市町村に幼児教室の設置が促進されますよう、引き続きご支援をお願いします。

〈学校教育室〉 幼児を対象とした「きこえとことばの教室」は、市町村が、特別な支援を必要とする幼児の相談、支援体制の一環として設置しているものであります。形態は様々であり、療育教室の中でその機能を果たしているケースもあります。県教育委員会におきましては、総合教育センターにおいて専門的な研修講座を設置しており、幼児のための教室担当者や、今後担当者となる方に活用いただいております。今後も引き続き地域の実状を踏まえながら、適切な相談・指導が受けられるよう、必要に応じて連携・支援を行って参ります。

3. 巡回指導について

様々な事情により通級指導を受けたくても受けられない子どものために、巡回指導の重要性が高まっています。巡回のための時間も考慮いただき、指導人数に見合った担当教員の適正な配置をお願いします。また、巡回先で効果的な指導が行われるように、指導室や教材等の環境整備をお願いします。

〈 学校教育室 〉 通級による指導を行う教室については、自校通級、他校通級、巡回指導という形態の中から、市町村の実状に応じて形態を選択したり、組み合わせたりしながら、進めているところです。今後も、学びの場の確保や教材の活用など巡回指導の在り方も含め、適切な指導が行われるよう、必要に応じて支援を行って参ります。

4. 特別支援教育に関わる担当教員の更なる研修について

子どもたちの多様なニーズに対応できるように担当教員の専門性や指導力を高めるための研修の継続と充実をお願いします。また、特別支援教育への理解と適切な指導・支援がさらに充実するよう、全教職員対象の研修が一層図られるようにお願いします。

〈 学校教育室 〉 県教育委員会におきましては、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の各校種の教員に対して、特別支援教育に関する研修を進めております。今後も研修のニーズに応じた研修内容や方法の工夫を図りながら、継続して取り組んでいきたいと考えております。

5. きこえとことばの教室の環境整備について

通級指導教室へ、環境と設備の配慮をお願いします。近年の猛暑や窓を開け扇風機を使用した場合の外の音による指導効果への影響または新型コロナウイルス感染症対策などの面からも、通級指導教室への普通教室と同様のエアコン設置をお願いします。障がいのある子も、ない子も共に学ぶ場でありながら、基礎的配慮が市町村によって異なっているように思います。また、タブレットやデジタル補聴システム（ロジャー）、Wi-Fi 環境等の子どもの必要性に応じた設備の充実もお願いします。

〈 学校教育室 〉 通級指導教室の適切な運営を進めるうえで、環境整備や設備の充実は必要なものと考えております。学校や地域の実状を踏まえて対応できるよう、必要に応じて市町村に情報提供を行って参ります。

6. 幼稚園・保育園の先生、保健師の方々のための研修講座の充実について

教育相談の大半は幼児の相談です。健診時の早期発見は早期の支援につながります。毎年「幼児期の言語教育研修講座」を開催していますが、研修のニーズは今後も続くものと考えています。「幼児教室」「きこえとことばの教室」の周知と運営・推進について今後もご支援をお願いします。

〈 学校教育室 〉 県教育委員会では、県保健福祉部と連携しながら、幼児のための教室や、きこえとことばの教室についても周知を図っているところです。今後も、貴団体が開催する研修会への協力も含めて、幼児期及びきこえとことばの教室に係る特別支援教育の充実を図って参ります。

7. 障がい者手帳が交付されない「難聴」や「吃音」等の子ども達への環境の充実と助成について

障がい者手帳が交付されない難聴、吃音等の子どもたちの就労について、早い段階からの情報収集と就労までの環境の充実をお願いします。また、軽度・中等度難聴児への補聴器購入や修理代の公費による助成を今後も対応していただくようお願いします。

〈 学校教育室 〉 障がいに係る手帳を有していない生徒や難聴、吃音の生徒の就労については、在籍している高等学校、特別支援学校において、本人及び保護者の希望を把握し、圏域ネットワーク会議等を通じて関係機関と連携して、支援を行って参ります。

〈 障がい保健福祉課療育担当 〉 平成 24 年度から難聴児補聴器購入助成事業を開始し、障害者総合支援法による補装具費の給付対象とならない方への補聴器購入支援のため、補装具費の補聴器の基準価格を準用して実施しており、また、修理代に係る助成についても令和元年 10 月から助成対象とする等、難聴児の支援に取り組んできたところであり、今後も継続できるよう努めて参ります。

祝 岩手県難聴言語障がい教育研究会結成 50 周年記念大会



令和 4 年 1 月 7 日（金）に、アイーナを会場に、岩手県難聴言語障がい教育研究会結成 50 周年記念大会が開催され、会長が来賓として出席いたしました。

記念表彰では、歴代の研究会会長や岩手のことばを語る会役員、研究会役員とともに、本会第 3 代会長である臼澤弘泰氏（故人）がご婦人とご子息により、第 4 代会長である佐々木信孝氏が感謝状を受領いたしました。また式典の最後には新名称を「岩手県きこえ・ことば・LD 等教育研究会」とすることが発表されました。

記念講演では、直木賞作家の重松清氏による「ことばの力」の講演がありました。親の会からも吃音に関わる各教室から 1～2 名ずつの参加が可能となり、30 名程がリモートでの講演を聴くことができました。吃音の当事者として、現在に至るまでのお話や吃音についての考えをきくことができました。

研究会の 50 年の歩みは、常に本の会との二人三脚であったと改めて確認することができました。



来賓



主演会長



臼澤様に感謝状の授与



会場の様子

< トイ・ドネーションによる「おもちゃ」の配付 >



【盛岡市立青山小学校
ことばの教室】

NPO 法人全国ことばを育む会では、昨年に続き米国の玩具メーカー日本法人である「ハズプロジャパン社」から、トイ・ドネーション（寄付する事業）を受け玩具を寄贈していただきました。

岩手県では幼児・低学年を対象とした玩具を「すっぴんの会」参加者にお渡ししようと考えておりましたが、中止となったため、参加申込みをされた教室から希望をお聞きし、「ことばの教室」5 教室（青山小、津志田小、鶴飼小、宮古小、水沢南小）に 2 月に郵送いたしました。

子どもたちの笑顔が見られますように・・・

【 訃報 】

長年本会にご尽力いただきました名誉顧問（第 3 代会長）臼澤弘泰様が 8 月に、初代会長落合新作様の奥様 落合ハル様が 11 月にお亡くなりになりました。

臼澤様には副会長時代から合わせると 30 年間に渡り、落合様には結成 50 周年記念事業（平成 27 年度）においてパネルディスカッションにご参加いただくなど草創期から現在まで、先頭に立って本会を導いていただきました。

お二人のこれまでのご厚情に深く感謝申し上げますとともに、心より冥福をお祈り申し上げます。

臼澤様の御子息 渉様 から故人の意思として、親の会に御厚志を頂戴いたしました。今後故人の意思が活かせる使い方を検討していくこととしております。



親の会は、今後も新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、保護者と担任の先生、通級校の校長先生をはじめ、関わってくださっている皆様をつなぎ、「子どもたちのために」活動を進めて参ります。今後ともよろしく願いたします。

子ども理解の学びについて ～ 吃音 ～

「すっぴんの会」は中止となりましたが、講師の種綿鼓動氏のご配慮により、講演資料を各支部に配付することができました。また、前述の「岩手県難聴言語障がい教育研究会結成50周年記念大会」記念講演では直木賞作家である重松清氏の講演を聴く機会がありました。何れも、子ども理解につながる、吃音の当事者からの貴重なお話でした。

「すっぴんの会」講師 種綿鼓動氏の講演資料から 一抜粋—

「吃音の子どもたちの力になるためには？～当事者の目線から～」

- 1、自己紹介
 - ・29歳 ・吃音歴29年！
 - ・特別支援学校教員…目指すきっかけになったのも「自らの吃音」。
 - ・小2～小6まで滝沢東小学校「ことばの教室」に週1～2回他校通級。
- 2、幼少期（幼稚園～小学校低学年）…「吃音」である自覚がなかった。
 - ・授業中も手を挙げて積極的に発言をしていた。
 - ・「ことばの教室」担当の先生とにかくお話を聞いてもらっていた。
- 3、少年期（小学校中学年～高学年）…この頃になると物心がつき始め、様々な変化が。
 - ・「ことばの教室」Ｔ先生 と 両親 の存在は支えだった。
 - ☆両者に共通することは「とにかく話を遮らず最後まで聞いてくれること」。
 - ・「ゆっくりでいいよ」「緊張しないで」などは、逆にプレッシャーになった。
- 4、大人に向けて（小学校卒業～今現在）～吃音とうまく生きていかなければ～
 - ・自分なりのうまくごまかす方法を考案。「苦手な言葉はすり替えてしまおう！」
 - この考えにたどり着いてから生きるのが楽になった。無意識にうまく言葉を言い換え、それなりに取り繕うことができている（はず）。この考えに早くたどり着きたかった！
- 5、まとめ 吃音の人は幼少期の温かさや感謝の思いを一生支えに生きていくのだと思う。
 - ・ダメージがくる年代は小学校中学年～中学生のあたり（いわゆる思春期）ではないか。
 - その時期に暖かく支えてくれる人（親、先生、友達ほか）が周りにいるだけで、つらい時期は勿論、その後の人生でも大きな支えになる。まさに一生もの。その子にあったアプローチを。
 - ・何れは自らの吃音と向き合い自己解決の方法を見つけていく必要がある。早いに越したことはない。

感想をお寄せいただきました。

ことばの教室担当者から

宮古支部…担当者は常に、子供の困り感に対して手を差し伸べ、何とか支えとなれることを願い、迷いながらも指導に臨んでいると思います。子供が、どんな場面でどんな思いをしているのか、親や教師が、どんな言葉でどう接すれば気持ちが楽になるのか、種綿先生の資料から伺い知ることができました。そして、「とにかく傾聴すること」や「励ますこと」の継続が、やがて、吃音のある自分を受け入れ、自分らしく生きていける力のもとになることも。指導する私たちへのエールとなりました。（「すっぴんの会」講演資料を読んで）

保護者から

盛岡支部…吃音がある長男は、ことばの教室を通じて大きく成長し、生活にやる気が溢れています。種綿さんの少年期、ことばの教室で安心して吃音を出すことができ、ご両親も吃音を受け入れて見守ってこられたことが、その後の人生の糧になっているのだなと思いました。今、まさに長男もその大切なステップに立っています。この先、吃音で深く悩むこともあるはずですが、きっと今の経験がそれを支えてくれるのでしょう。周りは流暢に話すことを唯一のゴールに決めてしまいがちですが、本人が自信を持って生きていけるようになることを目指し、引き続き応援していきたいと改めて思いました。（「すっぴんの会」講演資料を読んで）

紫波支部…「子どもの沈黙の中にはたくさんの言葉が詰まっている」という表現が一番印象に残りました。—中略—「ことば」が好きな子どもにしてあげてほしい。「ことば」は橋。離れているから話す。大切なものを運べる橋をつくっていきたい。話していない言葉を想像することも、他者と交流するための言葉づくりも、子育てには大切なことだと思った。

（重松清氏の講演から）